

水鳥を支える 水辺の生き物たち

漫湖は、国際的に重要な渡り鳥の生息地を保護するためのラムサール条約登録湿地に指定されており、さらに「東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ」重要生息地ネットワークに参加しています。

漫湖には貴重な鳥たちの渡りや越冬をささえる餌資源として、カニやゴカイなどたくさんの生き物が生息しています。しかし、これらは単に餌になるだけではありません。マングローブ干潟として独自の生態系を形成しています。干潮時には、国内では南西諸島でしか見ることのできないシオマネキ類やヒメヤマトオサガニが一斉にはさみを振り上げる様子が観察できます。

干潟いっぱいには生息する様々な生き物が、漫湖の水鳥を支えているのです。



樹高	7~8m	✓Check!	
沖縄名	ウーピング	/	
生育場所	①②	/	

初夏の開花時期には小さな白い花を咲かせる。葉が長い楕円形で先端が丸くなっていることが特徴。陽樹であるため、一般的には林縁に小規模に生育するが、漫湖ではオヒルギが少ないため優占種として大きな群落を形成している。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



樹高	8~10m	✓Check!	
沖縄名	ブシキ	/	
生育場所	⑧	/	

塩分耐性が強いので、他のヒルギ類に比べて海側でも生育する。一般的には10m程度に成長するが、漫湖では林縁に分布し、大きなものでも4mほどである。葉の先端が尖ること、タコの足のような支柱根が特徴。染料にも利用される。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

観察のポイント

① 潮位を知ろう

干潟の生き物は、潮が引いて干潟が現れた後、1時間くらいすると活発に活動します。特に晴れた暖かい日はより活発になります。潮が満ちて、水位が上がると、潮とともに魚があがってきます。このときの魚は活発に餌を探しているの、捕食シーンをみることもできます。

② いろいろな場所を見てみよう

干潟は、よく見てみると石が混じっている場所、とろとろとした柔らかい場所、水がある場所、少し高くなって水に浸からない場所など様々な環境があります。干潟の生き物はそれぞれ好みの環境が違うので、数メートル離れるだけでも違う生き物がいることがあります。また、木の上にも貝やカニがいるので探してみてください。

③ 静かに持ってみよう

干潟の生き物は、足音に非常に敏感です。そっと歩いているつもりでも、近づくとあっといふ間に巣穴に隠れてしまいます。そんな時は、動かずじっと待っていると、しばらくして再び顔を出します。じっくりゆっくり待ってみましょう。

④ 何度も来てみよう

観察できる生き物は、季節や天候、気温によっても変わります。ぜひ何度も足を運びたい皆さんの生き物を探してみてください。「Check!」欄に日付とチェックを書き込んで利用してください。



漫湖セルフガイド② 漫湖で出会える 水辺の生き物



この冊子は、漫湖で出会うことができる主な水辺の生き物を紹介したガイドです。より詳しいことが知りたい方は、漫湖水鳥・湿地センターのホームページにアクセスしてください。

<http://www.manko-mizudori.net/>

環境省 那覇自然環境事務所
Ministry of the Environment

セルフガイドを楽しむために ~守って欲しいマナーとルール~

- 泥の下には、たくさんの生き物の巣穴があります。干潟に入らないようにしましょう。
- 数少ない、希少な生き物が生息しています。捕まえず、観察して楽しみましょう。
- 漫湖は、カニや貝だけでなく水鳥も利用しています。水鳥は大変警戒心が強いので、驚かせないようにしましょう。

漫湖水鳥・湿地センターのご案内

漫湖の自然に関する展示や情報提供、自然観察会などを行っています。何でも気軽におたずねください。

【開館時間】午前9時～午後5時(無料)
【休館日】毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合は翌日)
年末年始(12/29~1/3)
慰霊の日(6/23)
〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城982
TEL.(098)840-5121 FAX.(098)840-5118

【参考文献】
◎琉球列島の陸水生物(東海大学出版会)
◎海の甲殻類(文一総合出版)
◎写真提供
賀数弘氏(那覇市)

オキナワハクセンシオマネキ
スナガニ科



甲 幅	1.5cm	✓Check!		
沖 縄 名	カタチマー	/		
生息場所	④⑨	/		

雄は背面に黒褐色と白色のまだら模様がある。干潮時に干出す干潟に生息するが、砂利が混じるような砂や泥の場所を好む。沖縄の言葉でヌヌウーイガニグラーと呼ばれることもある。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

ヤエヤマシオマネキ
スナガニ科



甲 幅	2.5cm	✓Check!		
沖 縄 名	カタチマー	/		
生息場所	③⑤	/		

眼柄(長く突き出た目)が細く、缺の下側が鮮やかな赤色で大きく立派であることが特徴。柔らかい泥の場所を好み、林内を流れる水路の岸辺でも見ることができる。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

ベニシオマネキ
スナガニ科



甲 幅	2cm	✓Check!		
沖 縄 名	カタチマー	/		
生息場所	⑤	/		

体全体が鮮やかな赤紅色に染まる。若い個体では黒に青のまだら模様のこともある。軟泥から礫混じりの環境まで幅広く利用するが、漫湖では木道付近の柔らかい泥底で観察できる。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

ヒメヤマトオサガニ
オサガニ科



甲 幅	2cm	✓Check!		
沖 縄 名	なし	/		
生息場所	⑤⑥⑦⑩	/		

水に浸かることの多い柔らかい泥底に巣穴をほる。「へ」の字型をした白いはさみが特徴。雄のはさみを振り上げる求愛行動が万歳をしているように見えることから学名はmacrophthalmus banzaiとつけられた。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

台湾アシハラガニ
イワガニ科



甲 幅	3cm	✓Check!		
沖 縄 名	なし	/		
生息場所	②③	/		

丸みのある甲面と、側面に3つの棘があることが特徴。若い個体ではやや緑がかった体色になることもある。満潮時でもほとんど水没しないような場所の転石などを好む。日中の干潮時には活発に巣穴から出て、餌を探す。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

フタハカクガニ
イワガニ科



甲 幅	3cm	✓Check!		
沖 縄 名	なし	/		
生息場所	②③	/		

甲羅の側面に2つの棘があることから名前がつけられた。転石や根の下に巣穴をほるが、木の上に登ることもある。あまり水に浸からない場所を好み、漫湖では林内に多く生息する。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

イトカケヘナタリ
フトヘナタリ科



殻 長	2.5cm	✓Check!		
沖 縄 名	なし	/		
生息場所	②	/		

高潮線付近(満潮時に水に沈む高さ)の礫底やマングローブの幹に張り付いて、干潮時には泥面を這いまわる。水が苦手、水に入れてもすぐに這いだそうとする。メヒルギの幹に密集していることが多い。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

ミナミトビハセ
ハセ科



体 長	10cm	✓Check!		
沖 縄 名	トントンミー	/		
生息場所	②⑤⑥	/		

林内や比較的陸に近い泥底を好んで巣穴を掘る。産卵用の巣穴の入口は数cmの円筒状になることもある。干潮時に泥の上をピョンピョンと跳びはねながら移動し、餌を探す。

■ 観察に適した時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12